

1.評価対象事務事業		シート作成日	平成25年7月19日
事業名	一般廃棄物処理事業	担当課・係名	環境美化センター 廃棄物対策係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	20
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	平成2年度

2.事業の概要

目的 (何のために)	種別ごと搬入された廃棄物を、ごみ処理施設で適正に中間処理（焼却・破碎・圧縮・選別等）を行うとともに、施設の運転及び維持管理を実施する。また、中間処理等をされた廃棄物を委託等により資源化・最終処分を適正に行う。				
対象 (誰を・何を)	町内一般家庭・事業所から収集又は搬入されるごみ、ごみ焼却処理施設、不燃物処理資源化施設、ばいじん処理施設				
内容	種別ごと搬入された廃棄物を、作業員によりごみ処理施設で適正に中間処理（焼却・破碎・圧縮・選別等）を行うとともに、施設の運転及び維持管理を実施する。また、中間処理等をされた廃棄物を委託等により資源化・最終処分を適正に行う。				
根拠法令・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	114,934	125,867	98,984
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円	37,768	38,713	23,647
	一般財源	千円	77,166	87,154	75,337
	職員人数 (概算職員数)	人			0.52
	人件費計 (b)	千円			3,187
総事業費 (a)+(b)	千円	114,934	125,867	102,171	
事業費内訳	○共済費 1,007千円 ○賃金 8,510千円 ○作業研修委託料 2,366千円 ○処理困難物処理委託料 9,773千円 ○焼却残渣等処理委託料 24,381千円 ○廃プラスチック処分委託料 25,675千円 ○粗大ごみ処分委託料 10,947千円 ○容器包装再商品化委託料 46千円 ○粗大ごみ等処理業務委託 13,151千円 ○使用料及び賃借料 3,128千円				
H 25 年度					

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 家庭系ごみ	t	10,221	9,935	9,600
	② 事業系ごみ	t	2,114	1,977	1,900
活動指標 (活動量)	① ごみ処理量	t	12,335	11,912	11,500
	②				
成果指標 (達成度等)	① 1 tあたりの処理経費	円	9,318	10,566	8,607
	②				

4.事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	残渣等の運搬、処分については全て民間委託業務で行っている。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	残渣等の運搬、処分については全て民間委託業務で行っている。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	種別ごと搬入された一般廃棄物を、ごみ処理施設で適正に中間処理（焼却・破碎・圧縮・選別等）を行い、中間処理等をされた廃棄物を委託等により資源化・最終処分を適正に行っている。
効率性	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	資源化や最終処分を行うために、適正な処分費用が掛かる。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input type="checkbox"/> 図った <input checked="" type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	資源化や最終処分を行うために、適正な処分費用が掛かる。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 民間委託を行い適正な廃棄物の最終処分を行っている。

5.改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み
<p>ごみ処理広域化に伴い、町の一般廃棄物のほとんどが平塚市で処理されることにより、全体の委託料は減少していくがさらに委託料を精査し予算のスリム化を図る。</p>
② 平成26年度に着手する事項
<p>ごみ処理広域化に伴い、町の一般廃棄物のほとんどが平塚市で処理されることにより、全体の委託料は減少していくがさらに委託料を精査し予算のスリム化を図る。</p>
③ その他（課題、調整事項等）
<p>平成25年10月からの平塚市への搬出となるが、搬出する廃棄物の数量等が不確定のため、今後しばらくの間は、平塚市や町の独自処理となる一般廃棄物の処理を委託する事業者との調整が必要となる。</p>

6.平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

<p>平成25年10月よりごみ処理広域化に伴い、本町のごみの大多数を平塚市のごみ処理施設で処理している。そのため、処理先である平塚市のごみ処理施設等との連絡調整を密にし、適正かつ計画的な執行に努めていく。</p>
--